



# 学校だより



埼玉県立浦和特別支援学校

令和3年6月30日 No.3



## 「居場所」と「出番」

教頭 こじま くにたか  
小島 邦隆

新年度が始まり、2ヶ月半が過ぎました。新年度がスタートしたときは、学年、学級、友だち、担任、教室が変わり不安な様子のお子さんもいました。現在は、新しい環境にも慣れてきて頑張っている姿がたくさん見られるようになってきました。毎朝、教室を回っていくとどのお子さんも、「ここは僕の学校」、「ここは私の教室」、「ここは僕の席」、「私の先生」というような心（気持ち）の居場所があるように感じます。安心できる心（気持ち）の居場所があるから成長できるのだと思います。この居場所は学校だけで築けるものではなく、保護者の皆様のご協力があるからこそ築けるのだと思います。

話は変わり、以前、スワンベーカー（阪神淡路大震災後にヤマト運輸が障害のある方を支援するために「障害のある方に月10万円の給料を」というコンセプトで立ち上げた特例子会社のパン屋さん）の社長さんに「先生は子どもたちに出番つくってる？」と聞かれました。社長さんは、出番というのは、子どもたちが自分からやりたいという気持ちになることで、「やってみる？」と大人が聞いて「うん、やる。」というのは自分からではない。係などを決めるときに大人が声をかけなくても自分から「やりたい。」と言える指導、場をつくることと話されていました。社長さんとの出会いは自分の指導を見直すきっかけとなりました。

コロナ禍が続く中ですが、保護者の皆様にはお子さんが成長できる「居場所」づくりへのご協力に感謝するとともに、「出番」（活躍）の応援をしていきたいと思っています。



## <高2・高3校内実習（6/14～/25）>

昨年は休校期間が長引いた関係で、行えなかったのが、2年ぶりの校内実習となりました。学年毎3グループに分かれて、活動内容は①クリップの袋詰め、②ボールペンの組み立て・解体、③タオルたたみ、④シュレッダー、⑤外注作業等です。最初はやり方が分からなかったり、集中力が続かなかったりすることもありましたが、難しい時には支援を要求しながら活動に取り組むことができました。徐々に「できました」「確認してください」の声も増えてきて、程よい緊張感の中、作業に取り組むことができました。



### 【QRコード】

QRコードを読み込み、ご登録いただくとすばやくサイトを表示することができます。ご活用ください。



浦和特別支援学校HP  
<http://www.urawa-sh-spec.ed.jp/>

